

茨城県の農業

関東農政局 茨城県拠点

令和8年9月

目次

茨城県の現状

- ・農業センサスから見た現状
- ・農業経営体の推移
- ・基幹的農業従事者の推移

茨城県の担い手

- ・20年後の推計人口
- ・基幹的農業従事者の推移
- ・後継者のいる農業経営体

茨城県の農地

- ・一経営体当たりの経営耕地面積
- ・経営耕地に占める借入地割合

茨城県の農業経営

- ・経営耕地10ha以上の農業経営体
- ・農産物販売金額と法人経営体数

茨城県の現状

1 農業経営体数

- ・2025年は33,809経営体で2010年の71,542経営体に比べ31,733経営体（52.7％）減少
- ・法人経営体は930経営体

2 基幹的農業従事者

- ・基幹的農業従事者は65歳以上が69.5％で平均年齢は67.4歳
- ・5年以内に農業を引き継ぐ後継者の確保状況は17.9％で全国平均の11.6％と比べ6.3ポイント多い

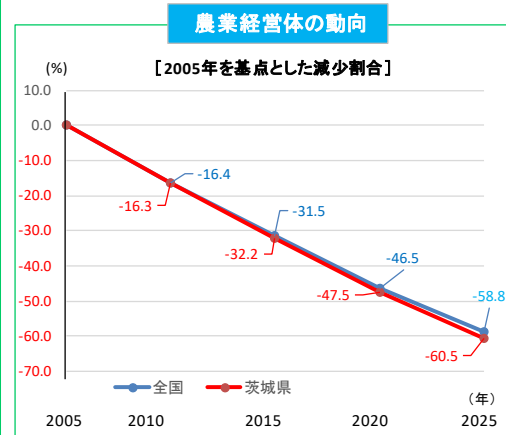
3 農業経営体の経営耕地面積

- ・2025年は102,389haで2010年の123,900haに比べ21,511ha（17.4％）の減少
- ・田66,129ha、畑は33,445ha

農業センサスから見た茨城県の現状

区 分	農業 経営体数	経営耕地面積 (ha)						1経営体当 たりの経営耕地 面積 (ha)	基幹的農業従事者 (個人経営体) (人)			基幹的農業 従事者の平 均年齢 (歳)	5年以内に農業を引き継ぐ 後継者の確保状況 (経営体)		
		個人 経営体	法人 経営体	計	田	畑	樹園地		計	65歳未満	65歳以上		確保して いる	5年以内に引き継 がない(※注)	確保して いない
全国	828,405	788,942	33,146	3,047,455	1,688,134	1,224,624	134,697	3.7	1,021,192	311,503	709,689	67.6	155,119	648,248	534,994
茨城県	33,809	32,777	930	102,389	66,129	33,445	2,815	3.1	43,102	13,159	29,943	67.4	6,065	26,541	21,836

◆地域の農業構造



◆農業経営体の組織区分別 経営体数 (2025年)

茨城県	
農 業 経 営 体	33,809
個 人 経 営 体	32,777
法 人	930
農事組合法人	76
会 社	824
その他法人	30
その他経営体	-
総農家	
販売農家	32,863
自給的農家	23,385

〈地域の活動〉 (2025年)

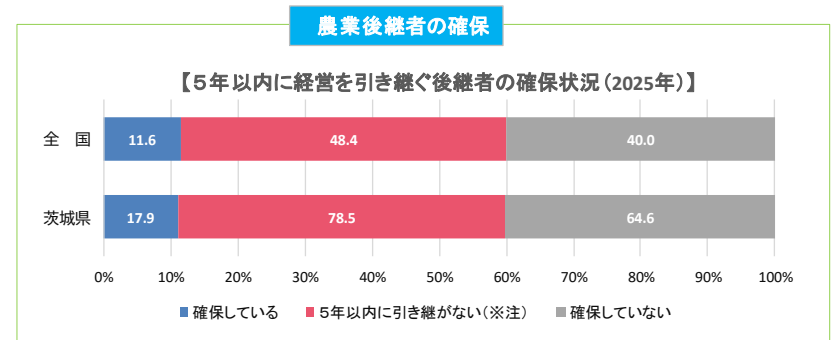
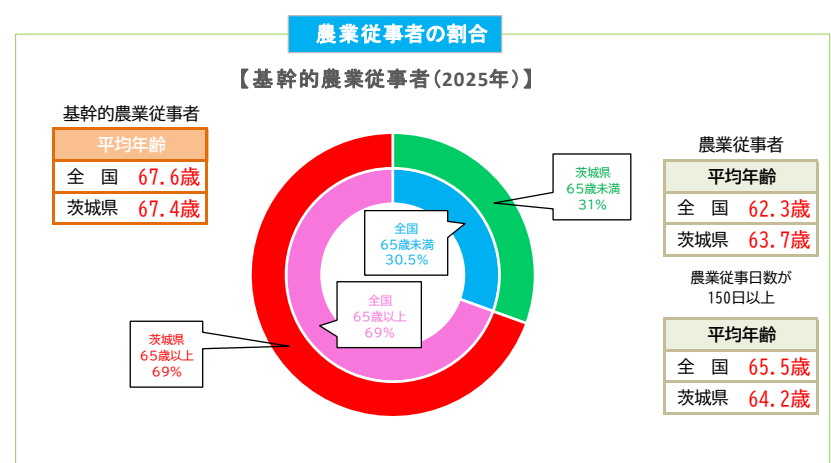
◇地域活動の取組状況 (2025年)	集落数
☆ 次のいずれかの活動を行っている	2,744
環境美化・自然環境の保全	2,495
農業集落行事 (祭り・イベントなど)	1,911
農業集落内の福祉・厚生	780
定住を推進する取組	35
グリーン・ツーリズムの取組	48
6次産業化への取組	18
再生可能エネルギーへの取組	56
★ いずれの活動も行っていない	833

青色申告を行っている経営体	データを活用した農業を行っている経営体
12,478	11,487

有機農業に取り組んでいる	
経営体数	作付 (栽培) 面積
2,053	428,669 a

集落営農組織 (2021年集落営農実態調査)	
組織数	140

◆地域の農業労働力



【※注：経営を開始または継承直後のため引き継ぐ予定なしと答えた経営体数】

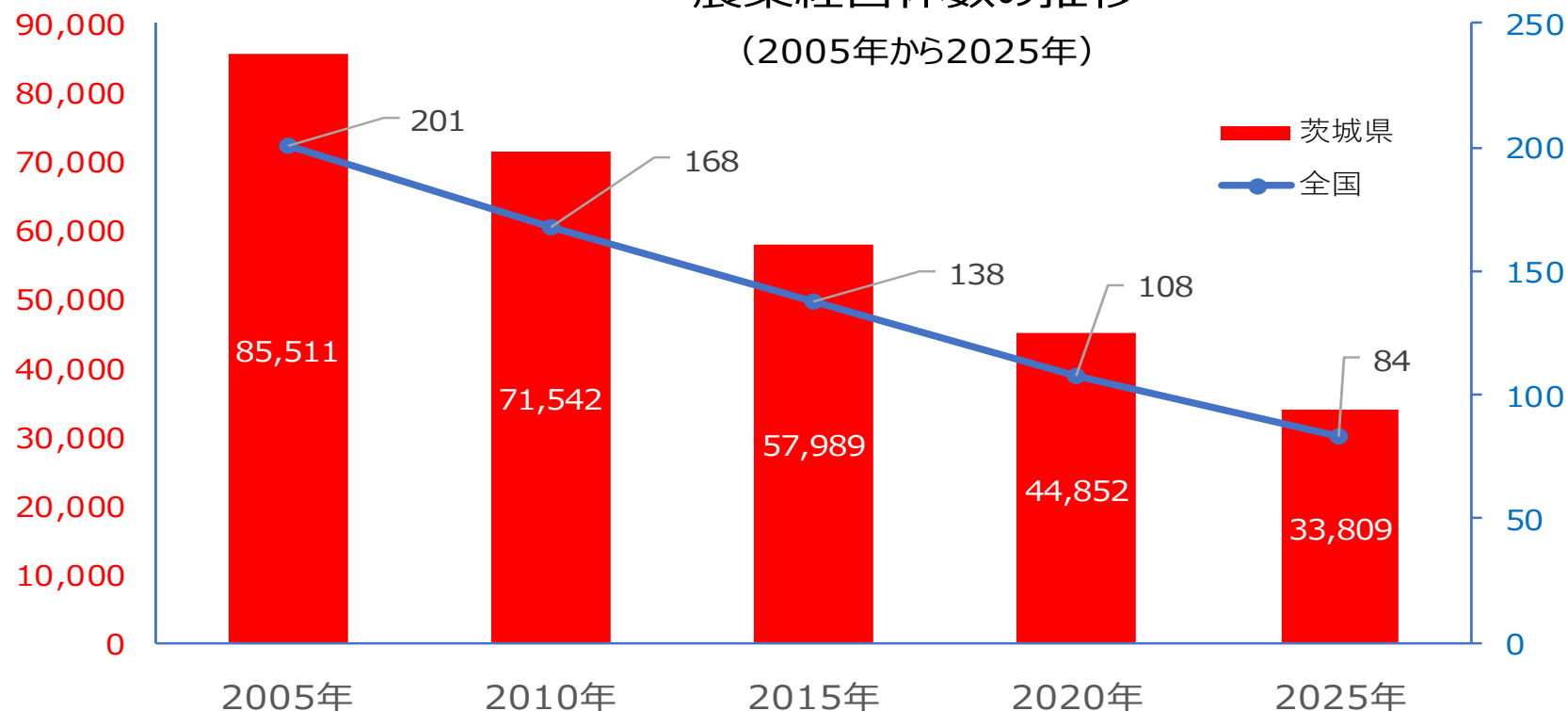
農業経営体数の推移

全国・茨城県

(経営体)

農業経営体数の推移
(2005年から2025年)

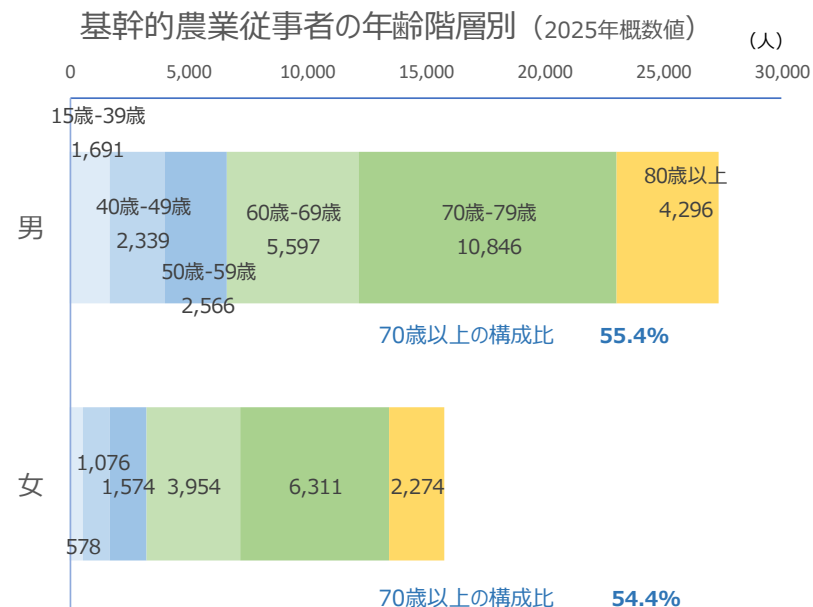
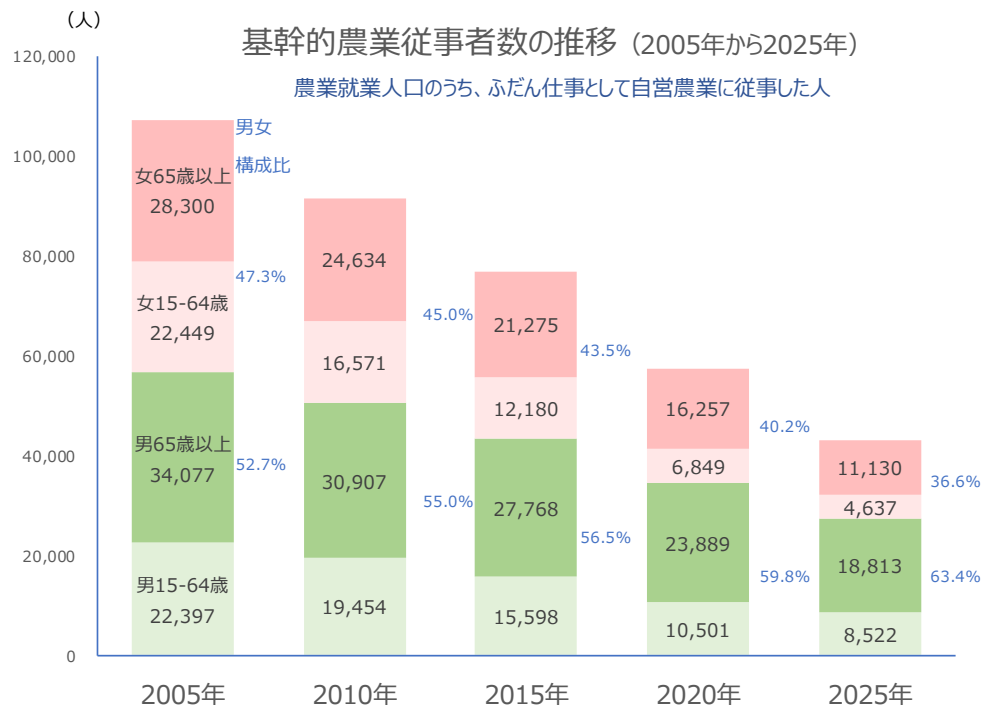
(万経営体)



(経営体)

センサス	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	20年差	増減率
全国	2,009,380	1,679,084	1,377,266	1,075,705	836,054	-1,173,326	-58.4%
茨城県	85,511	71,542	57,989	44,852	33,809	-51,702	-60.5%

基幹的農業従事者の推移



センサス	2005年	2010年	2015年	2020年	2025年	20年差	増減率
男15-64歳	22,397	19,454	15,598	10,501	8,522	-13,875	-62.0%
男65歳以上	34,077	30,907	27,768	23,889	18,813	-15,264	-44.8%
男計	56,474	50,361	43,366	34,390	27,335	-29,139	-51.6%
女15-64歳	22,449	16,571	12,180	6,849	4,637	-17,812	-79.3%
女65歳以上	28,300	24,634	21,275	16,257	11,130	-17,170	-60.7%
女計	50,749	41,205	33,455	23,106	15,767	-34,982	-68.9%
構成比（男）	52.7%	55.0%	56.5%	59.8%	63.4%		
構成比（女）	47.3%	45.0%	43.5%	40.2%	36.6%		

	15歳-39歳	40歳-49歳	50歳-59歳	60歳-69歳	70歳-79歳	80歳以上
男	1,691	2,339	2,566	5,597	10,846	4,296
女	578	1,076	1,574	3,954	6,311	2,274
構成比（男）	6.2%	8.6%	9.4%	20.5%	39.7%	15.7%
構成比（女）	3.7%	6.8%	10.0%	25.1%	40.0%	14.4%

出典：農林業センサス

注：2015年以前は販売農家、2020年以降は個人経営体

茨城県の担い手

1 2040年の推計※人口は大幅に減少

- ・2040年の推計人口は2,473,182人で、2020年の2,867,009人に比べ13.7%減少
- ・市町村別にみると、2020年に比べほとんどの市町村で減少がみられる中、つくばみらい市・守谷市・つくば市で増加が見込まれるものの、他の地域では減少
- ・2040年時点での推計人口上位5位の市町村は、つくば市（260,559人）、水戸市（254,892人）、ひたちなか市（142,518人）、土浦市（127,836人）、日立市（125,845人）

※ 2015年、2020年国勢調査の町丁・字等別統計及び国立社会保障・人口問題研究所の公表する「日本の地域別将来推計人口（2023年推計）」をもとに推計

2 基幹的農業従事者が大幅に減少

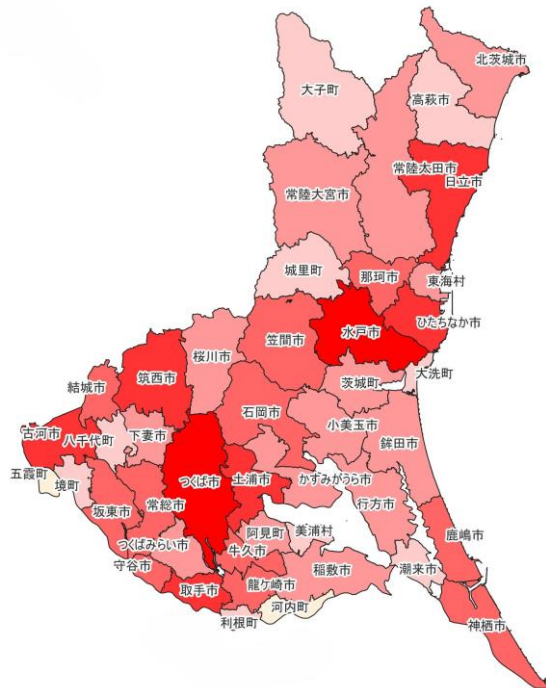
- ・2025年は43,102人で2010年の91,566人に比べて52.9%減少
- ・すべての市町村で基幹的農業従事者は減少している
- ・2025年時点での基幹的農業従事者数上位5位の市町村は、鉾田市（3,851人）、行方市（2,599人）、筑西市（2,235人）、水戸市（1,805人）、石岡市（1,758人）

3 後継者不足の顕著化

- ・2025年に5年後の後継者を確保している経営体は6,065で2010年の32,554経営体に比べ81.4%減少
- ・すべての市町村で後継者がいる割合が減少している
- ・2025時点での5年後の後の継者を確保している農業経営体上位5位の市町村は、鉾田市（360経営体）、水戸市（330経営体）、常陸太田市（319経営体）、行方市（309経営体）、笠間市（295経営体）

20年後の推計人口

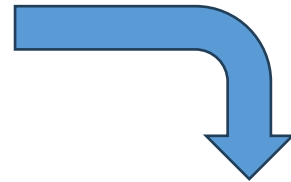
2020年人口
(国勢調査)



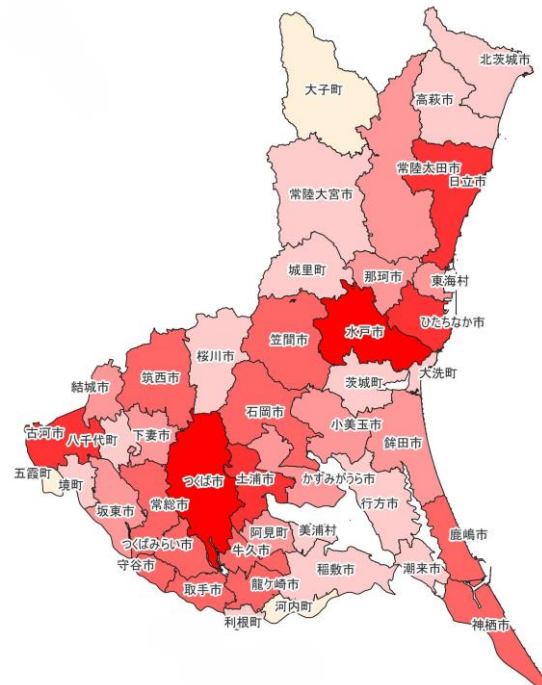
推計人口

- 1万人未満
- 1万人 - 3万人
- 3万人 - 5万人
- 5万人 - 10万人
- 10万人 - 20万人
- 20万人 - 30万人

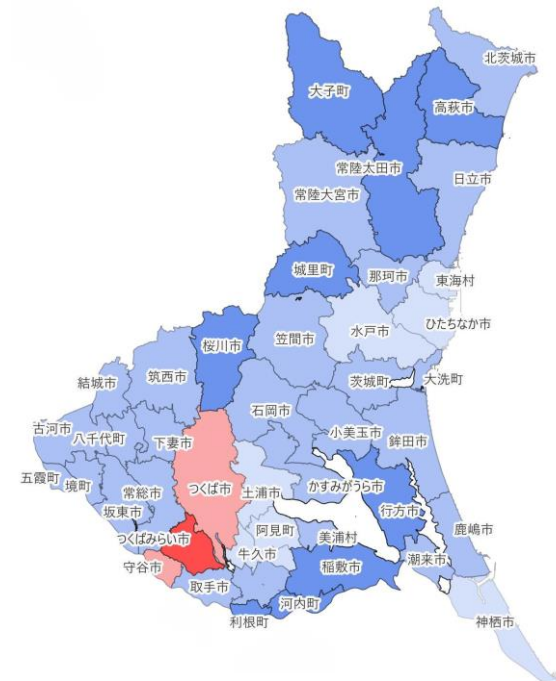
資料：2020年国勢調査
2040年将来推計人口



2040年推計人口



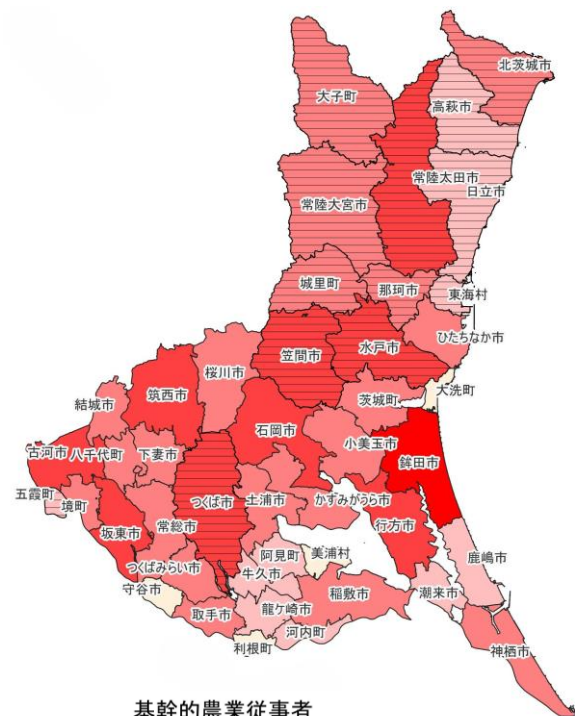
人口の対比
(2040年推計人口/2020年人口)



- 31%以上減少
- 11 - 30%減少
- 1 - 10%減少
- 増減なし
- 1 - 5%増加
- 6 - 10%増加
- 11%以上増加

基幹的農業従事者の推移

2010年



基幹的農業従事者

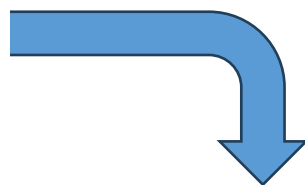
- 501人未満
- 501 - 1000人
- 1001 - 3000人
- 3001 - 5000人
- 5001人以上

65歳以上の基幹的農業従事者

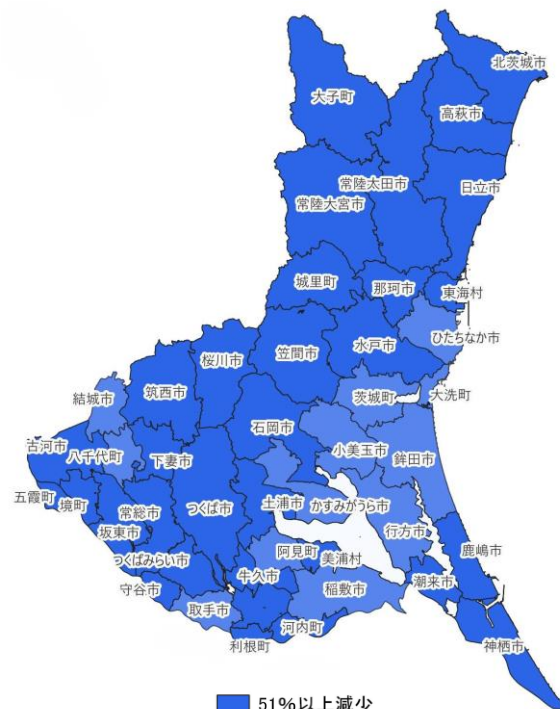
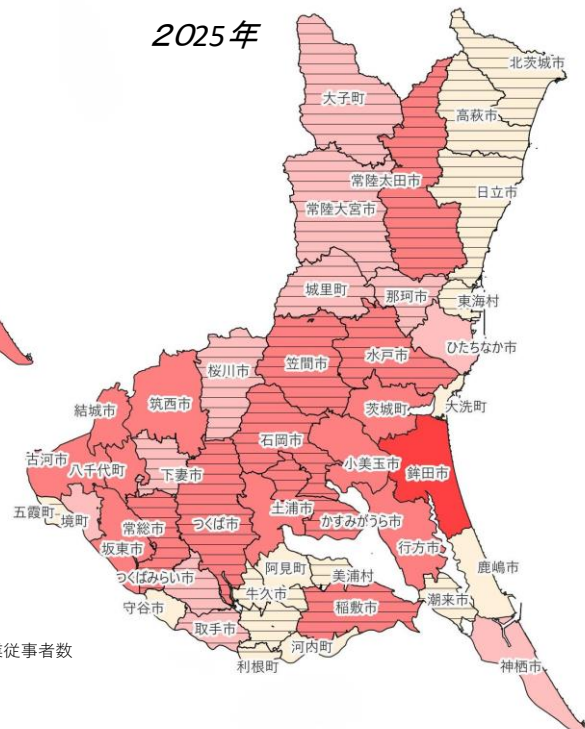
- 70%以上

資料：農林水産省 農業センサス 年齢別の基幹的農業従事者数

基幹的農業従事者数の対比
(2025年/2010年)



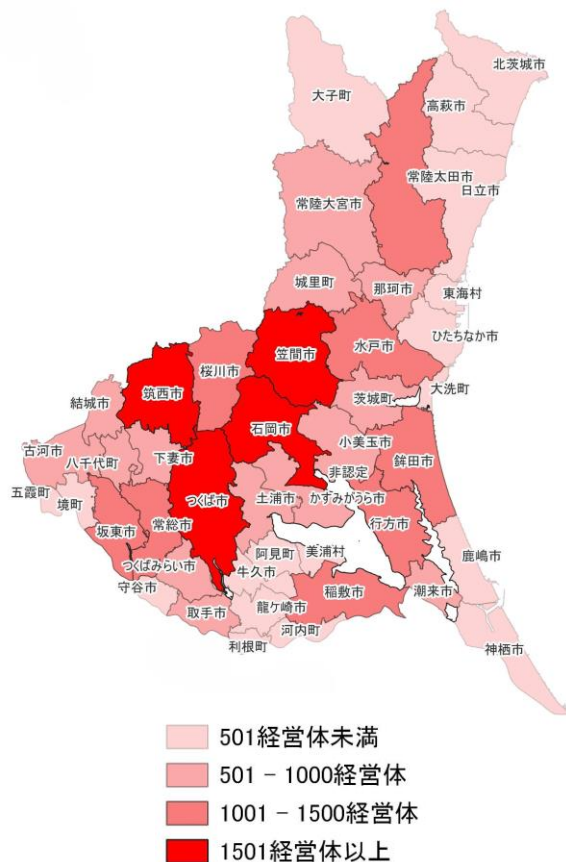
2025年



- 51%以上減少
- 41 - 50%減少
- 31 - 40%減少
- 21 - 30%減少
- 11 - 20%減少
- 減少10%以下

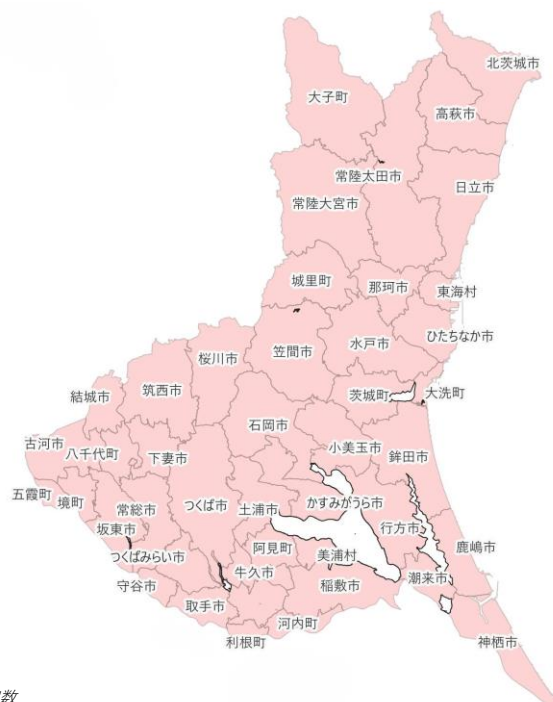
後継者のいる農業経営体

2010年センサス
販売農家の同居後継者がいる農家数

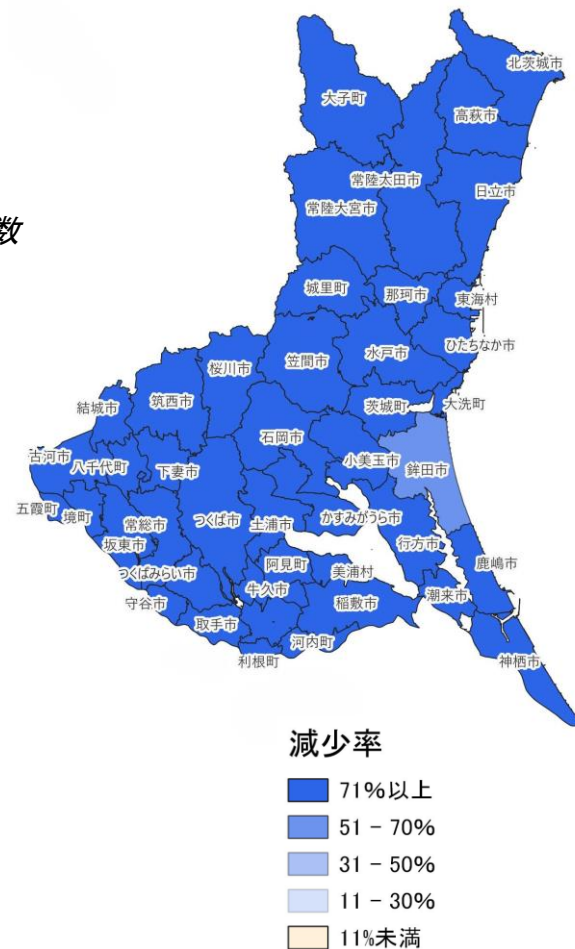


資料：農林水産省 2010年農業センサス 後継者の有無別農家数
2025年農業センサス 5年以内の後継者の確保状況別経営体数

2025年センサス
5年以内に後継者を確保している経営体数



後継者がいる農業経営体の対比
(2025年/2010年)



注：5年以内に後継者を確保している経営体数には、同居後継者以外も含まれる

茨城県の農地

1 1経営体当たりの経営耕地

- ・2025年の1経営体当たりの経営耕地面積の平均は306 a で2010年の174 a に比べ76%増加
- ・すべての市町村で増加しており、離農等に伴い耕作しなくなった農地を引き受け規模拡大した経営体が多いと考えられる
- ・2025年の1経営体当たりの経営耕地面積上位5位の市町村は、龍ヶ崎市（629 a）、河内町（626 a）、稲敷市（557 a）、利根町（542 a）、大洗町（537 a）

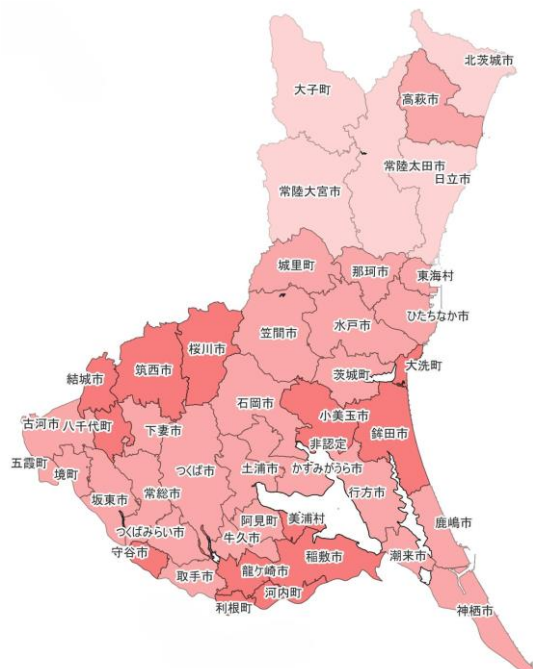
2 経営耕地に占める借入地割合

- ・2025年は56%で2010年の31%に比べ25ポイント上昇
- ・すべての市町村で経営耕地に占める借入地の割合は増加しており、50%以上増加した集落は40市町村あり、離農等により耕作しなくなった農地を借入れた経営体が増加したことが考えられる
- ・2025年時点での経営耕地に占める借入地の割合が多い上位5市町村は、龍ヶ崎市（72%）、桜川市（69%）守谷市（68%）、常総市・つくば市・筑西市（67%）

一経営体当たりの経営耕地面積

2010年センサス

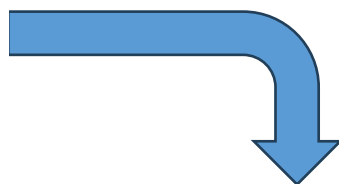
一経営体当たり経営耕地面積



- 101ha未満
- 101 - 200ha
- 201 - 300ha
- 301 - 400ha
- 401ha以上

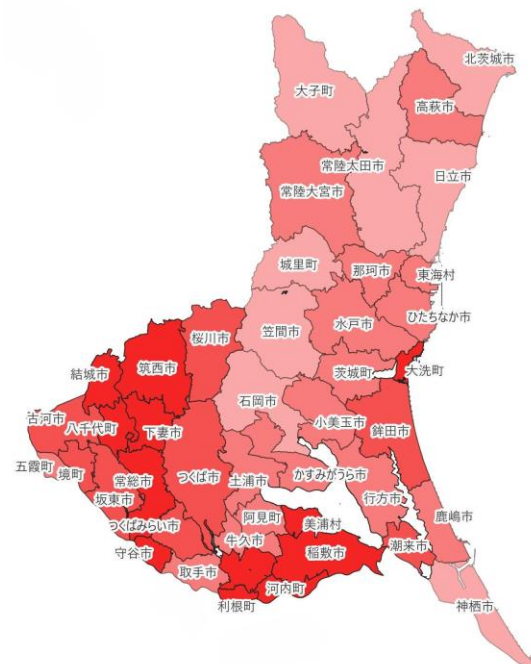
資料：農林水産省 農業センサス 経営耕地の状況

一経営体当たり経営耕地面積の
対比 (2025年/2010年)



2025年センサス

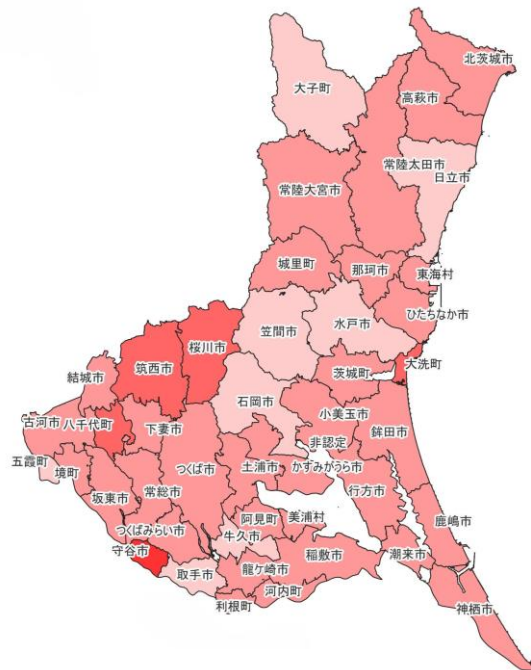
一経営体当たり経営耕地面積



- 1%以上減少
- 1 - 20%増加
- 21 - 40%増加
- 41 - 60%増加
- 61%以上増加

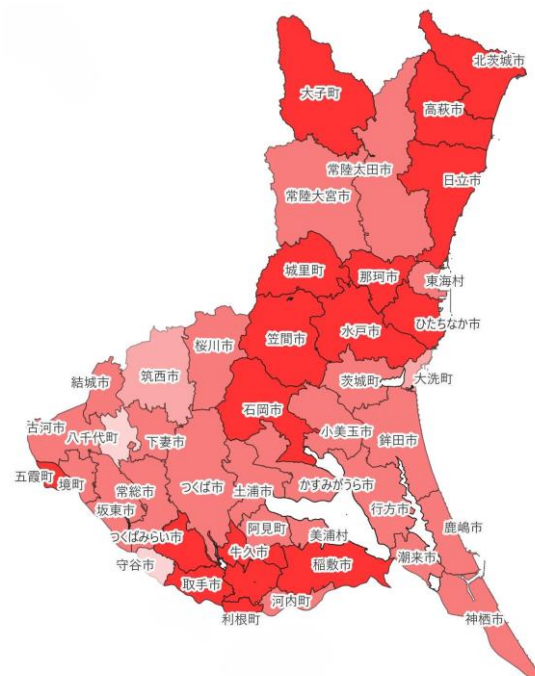
経営耕地に占める借入地割合

2010年センサス
経営耕地に占める借入地割合

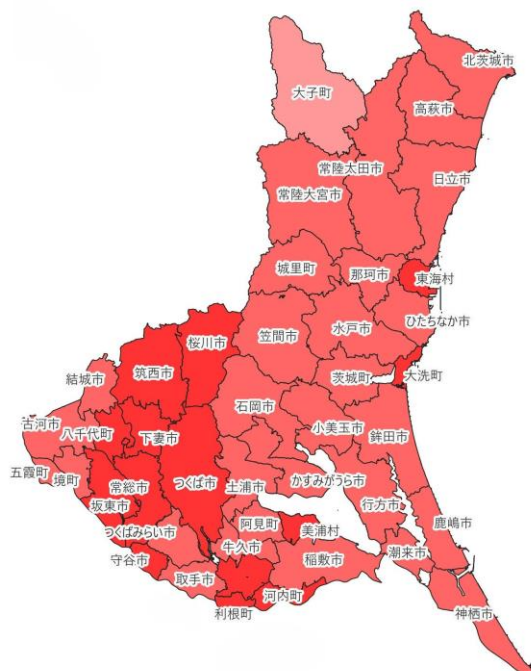


資料：農林水産省 農業センサス
借入耕地のある経営体数と借入耕地面積

経営耕地に占める借入地割合の対比
(2025年/2010年)



2025年センサス
経営耕地に占める借入地割合



茨城県の農業経営

1 大規模農業経営体数

- ・経営耕地面積を10ha以上持つ経営体を大規模経営体と仮定すると、2010年（1,011経営体）に比べ2025年（1,885経営体）は874経営体（86％）増加
- ・ほとんどの市町村で増加し、農地の集約化が進んでいることがうかがえるものの、守谷市では減少している
- ・10haの大規模経営体が多い市町村は、筑西市（154経営体）、稲敷市（140経営体）、鉾田市（122経営体）、つくば市（100経営体）、常総市（79経営体）

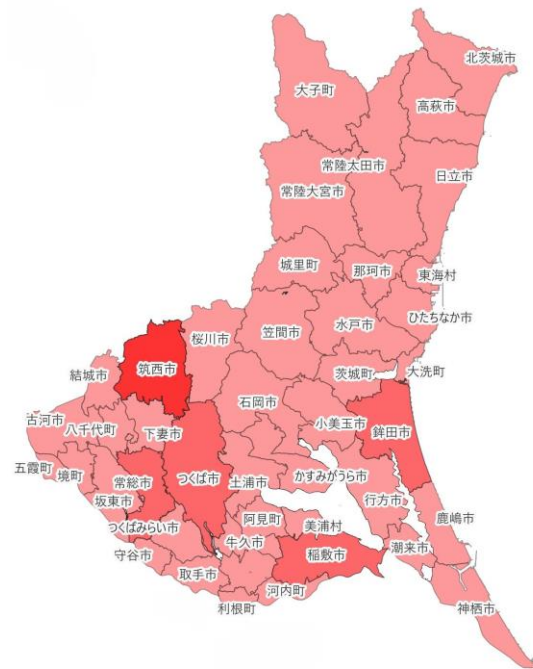
2 農産物販売金額と法人経営体

- ・2025年の農産物販売金額は、38,304,450万円で2010年の28,248,175万円に比べ約36％増加
- ・2025年時点での農産物販売金額が多い上位の5市町村は、鉾田市（608億4,700万円）、行方市（240億1,350万円）、小美玉市（239億3,075万円）、坂東市（210億100万円）、筑西市（196億4,375万円）

※：農産物販売金額は各グレードの中央値にグレード経営体数を乗じて推計（5億円以上については、5億円で算出）

経営耕地10ha以上の農業経営体

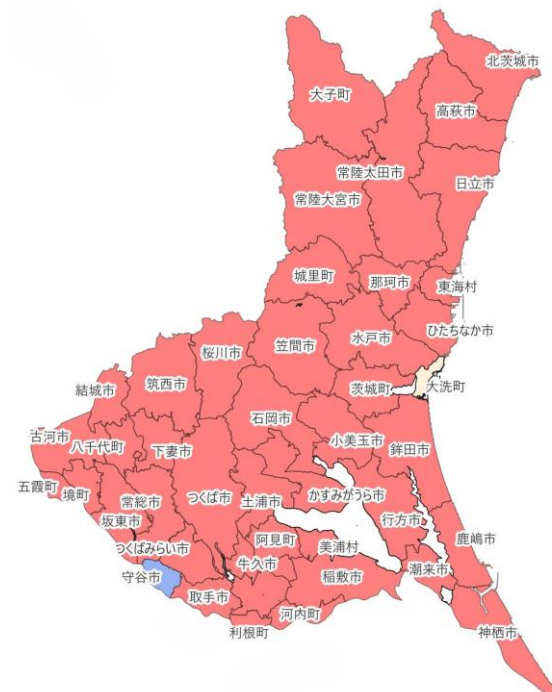
2010年センサス
経営耕地10ha以上の経営体



50経営体未満
51 - 100経営体
101 - 150経営体
151経営体以上

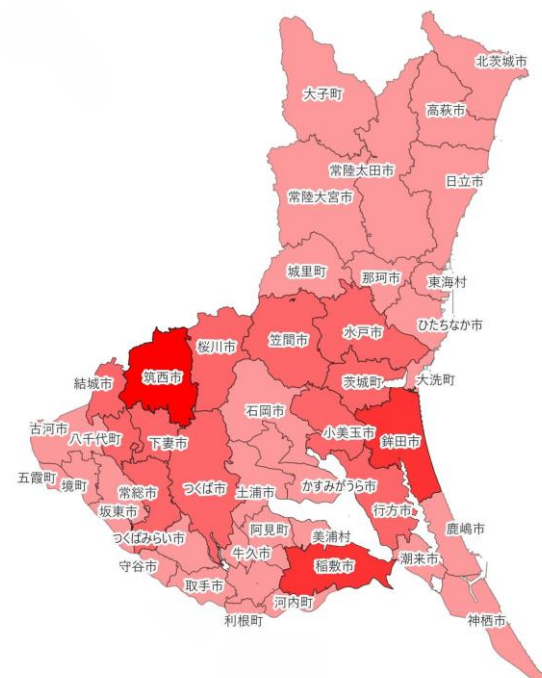
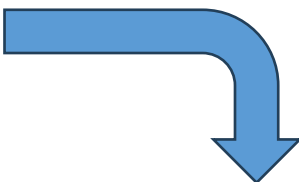
資料：農林水産省 農業センサス
経営耕地面積規模別経営体数

経営耕地10ha以上の経営体の対比
(2025年/2010年)



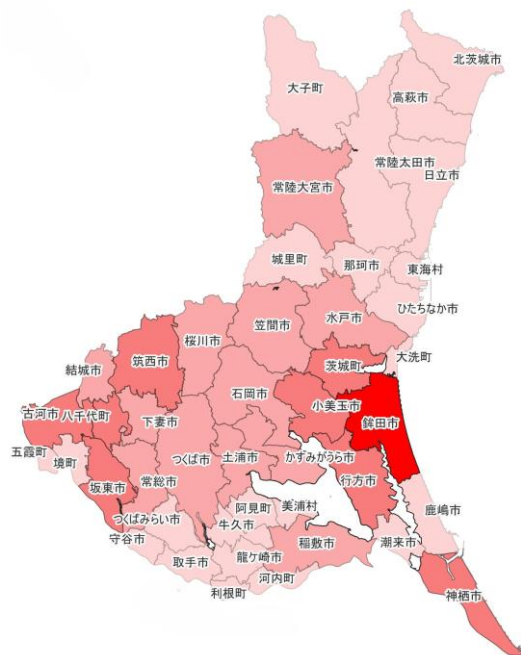
経営体数の増減
減少
増減なし
増加

2025年センサス
経営耕地10ha以上の経営体



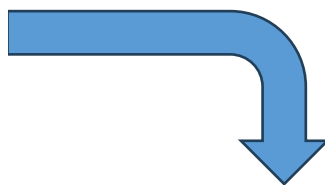
農産物販売金額と法人経営体

2010年センサス
農産物の販売金額



資料：農林水産省 農業センサス

農産物販売金額の増加と法人経営体の増加
(2025年－2010年)



2025年センサス
農産物の販売金額

